

平成 26 年度  
事業報告書

- ・ 法人本部
- ・ 児童養護施設 南山寮
- ・ 南山ルンビニー保育園
- ・ 特別養護老人ホーム南山の郷
- ・ 南山の郷デイサービスセンター
- ・ 南山の郷居宅介護支援事業所
- ・ ケアハウス南山の郷
- ・ 小規模多機能ホームみなみやま
- ・ 認知症グループホームみなみやま

# 平成26年度 事業報告

法人本部

## 1. 計画の実施状況

社会福祉法人愛知育児院の指標「いのちの輝き」に則り、各施設の日々の業務にその精神がいかされるように法人の立場で点検、指導を行いました。いずれの施設（児童養護施設南山寮、南山ルンビニー保育園、高齢者施設南山の郷、高齢者施設みなみやま）も「人」との関わりが日々の業務であることを認識し、標語「目配り・気配り・心配り」を常に忘れず、それを業務で実践できるよう指導しました。すべての施設が同じ敷地内にあることを利点に、愛知育児院最大の特徴である「世代間交流（施設間交流）」が日常的に行われるよう企画、運営をしました。また、129年の歴史を重んじ、社会福祉法人の在り方が問われる昨今の現状分析のもと、愛知育児院の継承・発展を目指して事業を行ってきました。

### (1) 理事会、評議員会

理事会、評議員会共に年4回催されました。その内容は、平成25年度の事業報告、平成25年度の決算報告、南山ルンビニー保育園の幼保連携型認定こども園への移行の件、介護職員初任者研修養成講座の設置案、平成26年度資金収支補正予算案、平成27年度事業計画案、平成27年度資金収支予算案そして定款をはじめ各種規程の変更案の審議、承認でした。

### (2) 規程の整備

労働基準監督署の指示による職員給与規程の変更、経理規程内の文言の変更、厚生労働省からの通達による安全衛生管理規程の改正を規程の整備として行いました。

### (3) 経理

法人本部の収入は主に「経常経費寄附金収入」と「拠点区分間繰入金収入」に依るものであり、事業活動支出をできる限り抑えなければなりません。幸い、各施設の按分による協力により平成26年度もそのバランスをとることができました。

梅森坂の売却益は「設備整備等積立金」として計上され、平成27年度資金収支予算案で各施設の空調整備費用に充てることになりました。

### (4) 広報活動及び情報公開など

各施設共、児童、園児、利用者さん達の日々の様子を伝えるために広報紙を発行しています。情報公開については、従来から他施設に先んじるホームページがありましたが、情報公開を求められる昨今のニーズに応えるため愛知育児院のホームペ

ージのリニューアルをしました。これにより、さらに多種、多量の情報を伝えています。

#### (5) 地域社会との連携

愛知育児院は、南山町の町内会、老人会、子供会など地域社会と積極的に交流してきました。このような交流以外にも、各施設独自に地域社会との交流が行われています。高齢者施設による「認知症サポーター養成講座」、保育園による子育て支援事業「ルンビニーひろば」などです。

愛知育児院最大の行事「ふれあいまつり」は、10月25日土曜日快晴に恵まれ、模擬店、ゲーム、ダンス・歌の発表などを通じ各施設のご利用者、そのご家族、職員、地域の方々と“ふれあう”ことができました。

## 2. 主な事業

### <会議など>

法人運営会議、法人連絡協議会、税理士経理点検（それぞれ月1回）  
苦情解決委員会（年2回）、「南山の森」編集委員会、世代間交流委員会（随時）

### <年間の主な事業>

- 4月 辞令交付
- 5月 監事監査、理事会・評議員会（決算）、資産登記
- 6月 苦情解決委員会
- 8月 盂蘭盆会
- 9月 理事会
- 10月 ふれあいまつり、評議員会
- 12月 報恩講
- 1月 理事会・評議員会（補正予算）
- 2月 苦情解決委員会
- 3月 理事会・評議員会（予算）

## 3. まとめと今後の課題

平成26年度は、どの施設も目標に向かって地道に進むことができ、日々の業務を無難にこなすことができました。特徴的なこととして、保育園の「幼保連携型認定こども園」への参画がありました。幸い、年度末には予定通り認可を受けることができ、新年度より新体制で業務を行っています。しかし、国の方針による、児童養護の家庭的（地域小規模）児童養護施設設置は課題として残っています。

昨今、社会福祉法人制度の見直しが国の課題として取り上げられ、基本的な視点として、公益性・非営利性の徹底、運営の透明性、地域社会への貢献の三点が挙げ

られています。また、社会福祉法人の経営組織の在り方について、理事会、評議員会などの位置づけが一般財団法人・公益財団法人と等しくなる方向で検討されています。つまり、法人の透明性をさらに追求し、公益性を担保できる運営組織を目指すものです。今後、社会福祉法人に対し、国よりさらなる課題が与えられ、指導強化が予想されます。しかし、愛知育児院にとってはすでにクリアしている課題も多いのが現状です。今後、新たな課題に対しては迅速に対処していきます。

# 平成 26 年度 事業報告

## 児童養護施設 南山寮

### 1. 計画の実施状況

#### (1) 子どもの権利擁護についての取り組み

平成26年7月に第三者評価を受審し、施設として不足している点や、子どもたちにとってより良き養育を行なう上での弱点が明らかになりました。また、外部の専門家を招いてのケース検討会や施設内研修、人権擁護のためのチェックリストの活用、性教育の実践を通して、職員一人ひとりが権利擁護意識を高める活動に取り組みました。

#### (2) 地域社会や関係機関とのネットワーク強化

南山寮の子どもたちを支援してくださる人的ネットワークの広がりにより、女子児童のヒップホップダンスチームやバンドチームに加えて、アフリカ太鼓のチームが結成されました。アフリカンフェスティバルやKIPイベントでは、子どもたちがステージに立ってパフォーマンスを披露する機会を用意いただき、自己肯定感を高めるチャンスとなりました。

#### (3) 施設内設備の整備に向けて

子どもたちの安全を考慮し、小規模グループケアユニット入所児童が利用する屋外階段にLEDセンサーライトを設置、前年度に引き続き、園庭ジャングルジム下にゴムチップを敷設しました。ふれあいホールの照明をLED化するとともに、各ユニットの給湯器や壁紙、厨房の回転窯など、経年劣化に対応した修繕工事や機器の入れ替えを実施しました。

また、CBCチャリティ募金の受配により、愛知育児院のロータリーに環境配慮型屋外時計を設置しました。

#### (4) その他

子どもの意見を参考にして、全員参加での志摩スペイン村への1泊旅行を企画実施しました。子どもたちは、楽しみながらスペインの文化に触れるのと同時に、普段の集団給食では味わうことのできない海の幸を堪能することができました。

## 2. 入所児童数

・入所児童定員数 55名

### 【月別入所児童数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
幼児	11	11	11	11	11	12	12	12	11	11	13	14
小学生	22	22	22	22	23	24	24	24	24	24	23	23
中学生	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12
高校生	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
その他	1											
合計	51	50	50	50	52	54	54	54	53	53	54	55
ショートステイ			16	1	6				3	5	2	
一時保護			16	66	50	6			3	12	13	22

(※ ショートステイ・一時保護は月間の延べ人数)

## 3. 主な事業

### (1) 会議及び行事

#### <月会議>

職員会議・リーダー会議・各フロア会議・給食担当者会議・給食審議会  
進路指導・会議（年1～2回）・予算検討会議（年1～2回）  
セラピストとの懇談会（年2回）・児童相談所職員との懇談会（年1回）  
防災会議（隔月）

#### <月行事> 誕生会・避難訓練・夕食会

#### <名古屋市児童養護連絡協議会の行事>

海の家（篠島）・福祉絵画展・自立支援研修  
スポーツ大会（ソフトボール・野球大会）・児童福祉施設運動会  
退所児童社会自立宿泊研修・フットサル大会

### (2) 月別行事实績

- 4月 入学式・入園式・東別院まつり・学級懇談会・小中学校授業参観  
5月 親子遠足（幼）・運動会（小）・保育参観（幼）・子どもサロン  
ふれあいバーベキュー  
6月 自立支援研修・ケア交流（水族館）・子どもサロン・喫茶クラブ・子ども会  
ドッジボール大会・小学校授業参観

- 7月 小学校授業参観・七夕会（幼）・自立支援研修・名養連海の家・山のくらし
- 8月 子どもサロン・喫茶クラブ・ケア交流（かき氷）・名養連スポーツ大会  
幼稚園夕涼会・盂蘭盆会・法人総合防災訓練・絵画展表彰式
- 9月 自立支援研修・喫茶クラブ・子どもサロン・子ども会ソフトボール大会  
ウォーク寄附金贈呈式・J C キャンプ・体育大会（中）・小学校授業参観  
アフリカンイベント
- 10月 修学旅行（小）・自立支援研修・施設運動会・幼稚園運動会  
スペイン村1泊旅行・ふれあいまつり・U S J 招待・栄町クラブ招待
- 11月 ザンパボンたすきリレー・子ども会親子ドッジボール大会・七五三招待  
幼稚園父兄参観日・合唱コンクール（中）・作品展（小）・喫茶クラブ  
フットサル大会
- 12月 市指導監査・善意銀行サンタ来寮・東別院子ども報恩講・自立支援研修  
ビンゴ大会・クリスマス会・フットサル大会・喫茶クラブ・もちつき  
大掃除・年越会
- 1月 新年の集い・初詣・喫茶クラブ（初釜）・キッズ雪遊び・塩竈会招待  
山の家
- 2月 自立宿泊研修・喫茶クラブ・ボウリング大会・子どもサロン・小学校授業  
参観・学級懇談会・幼稚園お遊戯会・子ども会お別れ遠足・旅立ちセミナー・  
テーブルマナー招待・タキヒヨーイベント招待
- 3月 子ども会お別れ会・幼稚園お別れ会・卒寮生を送る会・南山スプリングカーニバル・  
就職支度金贈呈式・テーブルマナー教室・卒業式（小中高）・卒園式・法人総合防  
災訓練

### （3）実施・導入および改訂事項

- ① 施設の小規模化・地域化に向けた取り組み
  - ・前年度に作成した家庭的養護推進15年計画の見直し
  - ・地域小規模児童養護施設の導入に向けた検討
- ② 入所児童の権利擁護に鑑み、適切なケアを考える学習会を開催
  - ・性教育をテーマにした施設内研修の開催
  - ・発達障がいを抱える児童への適切な対応を学ぶケースカンファレンスの開催
- ④ 権利擁護に向けた取り組み
  - ・第三者評価受審（愛知県福祉サービス第三者評価推進センター）（7月）
  - ・人権擁護のためのチェックリストの活用（2月）
- ⑤ 工事・物品購入等
  - ・処遇システムサーバPC入替え（10月）
  - ・厨房回転窯交換（11月）
  - ・ふれあいホール照明LED化（12月）

- ・遊具ゴムチップ敷設工事（1月）
- ・屋外時計設置工事（2月） ・屋外階段LEDライト設置工事（2月）
- ・環境配慮型屋外時計（2月）
- ・玄関ドアおよび事務所受付改修工事（3月）
- ・1F 防災カーテン交換（1月）
- ・会議室の机および椅子入替え（3月）
- ・給湯器入替え工事（3月） ・全館クロス貼り替え工事（3月）

#### 4. まとめ

平成24年度に3年に一度の第三者評価受審が義務化されたことに伴い、愛知県福祉サービス第三者評価推進センターによる評価調査を受審しました。評価調査者による第三者の視点から、南山寮における養育・支援のさらなる質の向上を図る上での改善点を的確に指摘いただき、良き「気づきの機会」となりました。高く評価していただいた点は今後も質を落とすことなく精進し、改善を指摘いただいた点については真摯に受け止め、できるだけ早く整備をし、子どもたちにとっての最善の利益となるための改善活動へと繋げていきます。

また、市施設機能強化推進費、寄附金、助成金の有効利用に加え、南山寮の子どもたちを支援して下さる様々な人的資源を積極的に活用することで、子どもたちに、自立に向けた様々な学びの機会や安全・安心を提供します。

# 平成 26 年度 事業報告

## 南山ルンビニー保育園

### 1. 計画の実施状況

#### (1) 子どもの発達過程と保育の視点を明確にしながらのカリキュラム設定

- 1・2歳児の保育では、製作などの活動では一人の保育士と少人数の子どもがじっくりと関わって落ち着いた環境の下で取り組めるように人数配分に配慮をしました。今まで以上に一人ひとりの成長の特徴を把握することができ、その特徴に配慮しながらクラス保育を展開することができました。
- 幼児の保育では、クラスごとのグループ活動だけではなく、乳児クラスと散歩や遊びをする機会を多く設定しました。そのことにより生活の中で年下の子を思いやる姿が自然に増えていきました。
- 乳児保育において、保育士との愛着関係をしっかり作りながら清潔で安全な快適な保育環境のもと、心身の発達状況や生活リズムを把握して一人ひとりに対応しました。
- 幼児の教育において、保育士との信頼関係を基に子ども同士が主体的に関わりながら、個性を認め合って活動することの楽しさが経験でき、共通の目的意識を持って取り組めるカリキュラムを設定しました。
- 障がい児保育については一人ひとりの発達状況を理解し、適切な援助ができるよう臨床心理の先生をアドバイザーとして迎え、ケース検討会の充実を図りました。子どもだけの問題ではなく家族との関係性も含めた細やかな対応について検討ができ、適切な発達援助へつなぐことができました。

#### (2) 在園児、未就園児を問わない地域の子育て支援

- こどもの心身の発達を保護者と友と共に喜びあえるような情報の発信に努めました。クラスだより（月1回）に加え、その日の保育のエピソードを紹介する「号外」により保育内容を共有する機会が増えました。
- クラス懇談、個人懇談の開催、育児相談を随時受け付けました。子育てに不安を抱えている保護者の気持ちに寄り添うことができました。
- 地域子育て支援（ルンビニーひろば）…未就園児親子対象  
月に2回、子育て講座、手作りおやつ、運動あそびなどを行いました。南山寮の地域交流スペースを使用させてもらい、より充実させることができました。  
園庭開放は曜日・時間等定着したため、お友達と誘いあって遊びに来て

くださる方が増えました。見学時や電話にて随時育児相談、発達相談がありました。

- 援助の必要な家庭に対し、行政機関と連携をとり適切な支援ができるよう努めました。

### (3) 世代間交流を通しての幅広い保育の実践

- 昨年同様、お互いに負担にならない交流を心がけ年長児を少人数グループに分け実践しました。年中クラスと高齢者施設「みなみやま」との定例交流も定着しました。南山の郷との毎月の交流も年長児を2グループに分け、1F・2Fとフロアごとにしたことにより、落ち着いて交流が持てるようになってきました。
- デイサービスとの交流は通常保育の園児だけではなく、休日保育の園児も誕生会に参加したりと幅を広げることができました。

### (4) 保育力の向上

- 新制度の園内研修や「幼児の教育」についての外部研修参加により、現在の保育を振り返り、育ちの連続性を踏まえたカリキュラム構成や環境設定の大切さを再確認することができました。
- 援助の必要な家庭や発達につまづきが多い園児の対応などに園全体で取り組むことにより、職員間の連携が深まり全体の保育力向上に繋がりました。
- 職員が主体性を持った会議が展開できるように工夫をしました。全体会議では一人ひとりが発言の機会を持つ参加型の会議にしました。職員としての自覚を持って参加することにより、積極性が増し共通認識度が高まりました。

## 2. 利用実績

クラス 月	たんぽぽ 0歳児	チューリップ <sup>1</sup> 1歳児	マーガレット <sup>2</sup> 2歳児	ひまわり 3歳児	さくら 4歳児	ゆり 5歳児	合計
4月	12	21	24	24	24	26	131
5月	12	21	24	24	24	26	131
6月	15	22	24	24	24	26	135
7月	15	22	24	24	24	26	135
8月	16	22	24	24	24	26	136
9月	16	21	24	24	24	26	135
10月	15	21	24	24	24	26	134
11月	15	21	24	24	24	26	134

12月	16	21	24	24	24	26	135
1月	18	21	24	24	24	26	137
2月	18	21	24	24	24	26	137
3月	18	21	24	24	24	26	137
計	186	255	288	288	288	312	1617

### 3. 主な事業

#### (1) 保育事業

- 産休育休明け入所予約・・・年間6人枠。
- 障がい児保育・・・・・・・・・・中度4名、軽度1名が入所しています。
- 休日保育・・・・・・・・・・定員10名
- 特別教室・・・・・・・・・・たいそう教室・英語であそぼう（3歳以上）  
音楽教室・お茶教室（5歳児クラス）

#### (2) 交流事業

- 南山の郷との定期的な交流
- 年長児の祖父母との交流
  - ・敬老のお祝い会にご招待して、楽しく過ごしていただきました。

#### (3) 子育て支援事業

- ルンビニーひろば（月2回、育児相談・講演会・ふれあい遊び・  
手作りおやつなど）
- 園庭開放（毎週水曜日10時30分～12時）
- 電話育児相談（随時）
- 保育園見学と入所システムの説明

### 4. その他

#### (1) 行事

- 4月 入園進級式・お花見散歩・花まつり
- 5月 こどもの日のつどい・親子遠足・クラス懇談会・プラネタリウム見学  
（年長）
- 6月 歯科検診・歯みがき指導
- 7月 たなばた会・なつまつり・プール開き・お泊り保育(年長)
- 8月 カレークッキング
- 9月 防災訓練・敬老の日の集い・園児健康診断
- 10月 運動会・秋の遠足

- 1 1月 人形劇観賞(児童館)・七五三のお祝い会・保育参加(2歳児以上)
- 1 2月 報恩講(年長・東別院)・クリスマスお楽しみ会・年忘れ会
- 1月 初詣・餅つき・クラス懇談会
- 2月 豆まき・ひなまつり会
- 3月 お別れ遠足(年長)・お別れ会・園児健康診断・卒園式

保健衛生 身体測定(毎月)・避難訓練(毎月)・ぎょうちゅう検査(年1回)  
職員健康診断(年1回)・職員検便(年2回)

## (2) 職員会議および研修

会議;職員会議・リーダー会議・クラスケース会議・給食会議  
行事企画会議

研修;名古屋市子ども青少年局・全国私立保連園連盟・名古屋民間保育園連盟・名私保育士会・名古屋保育士会・昭和区保育協会・昭和区保育者の会・その他保育研究団体主催の研修会に参加。

園内研修・・・ケース検討会(年6回)、「保育新システムの理解」(通年)

## 5. まとめ

「子ども子育て新制度」に向けて、どのような方向性で行くのかを決定し、それに向けた準備に取り組んだ一年でした。国の方針も固まりきらず、その動向を見ながら方向性を見出すための情報収集や園の現状や課題を分析することに職員が取り組んだことに大きな意義を感じました。ただ、言われたからそうなったではなく、自分たちが取り組んでいけるのかをいろんな立場から考えることにより、それぞれが責任とやりがいを持って職務にあたる姿が感じ取れました。慣れ親しんだ職員間に新しい空気が流れたようです。

「保育と教育」を考えた活動設定は職員自身も「工夫する」ことが必要になります。今までの内容に何かをプラスすることで子ども達に変化が生まれることを実感しながら日々の活動設定に取り組んできました。内容は新しいものを次から次へと入れるのではなく、子どもの「考える力」を導き「実行」できるように援助するスタイルを共有したことにより、園全体の活動内容が連携できた形となりました。

個別対応では、発達支援の必要な子どもに加え、行政的な援助が必要な家庭が4件ありいろいろな場面で援助の難しさを実感しました。行政機関と連携をとり、子ども達が家庭の中で安心して過ごせるように今後も配慮していきます。

平成27年度より「幼保連携型認定こども園」としてスタートします。今まで同様に、生活の中で人と人のつながりを大切にし、「生きる力」を学ぶことのできる園であることに努めていきます。

# 平成 26 年度 事業報告

## 特別養護老人ホーム 南山の郷

### 1. 計画の実施状況

#### (1) グループケアを充実しケアの個別化の推進

住み慣れた環境や人間関係の中で生活ができる環境整備に継続的に取り組んでいます。職員は所属するグループ内だけではなく他のグループのご利用者にも対応し、多職種とも連携しながら重度化のご利用者が増加する状況に全体で対応できる介護体制づくりに努めています。

環境面では改修や修繕を順次進めており、各階の廊下および1階食堂の照明器具の更新と、全館のカーテン(居室内プライベートカーテン含む)を更新し、清潔で明るい生活ができるよう環境を整えています。

#### (2) ケア内容の再点検とケアプランの充実

ご利用者本人やご家族がサービス担当者会議に参加して頂く体制をとり、ニーズの把握やサービス提供のあり方を検討してきました。日常の中では、各種委員会や会議の中で個別の課題について、職種間で連携し問題を解決する体制の定着化に努めました。

タイムリーな情報の共有と、嘱託医、歯科医師、歯科衛生士、理学療法士など、施設外のスタッフとの連携は強化されてきていますが、まだ十分な活用には至らず引き続き活用の徹底に取り組めます。

ケア内容の見直しやプランの充実を図る中で、ご利用者にとって負担が少なく、安心して介護を受けて頂けるよう、改めて介護方法の統一化を徹底しました。また、重度化、多様化のご利用者の対応に必要な福祉機器や介護用品についても見直し、リクライニング車椅子や調整可能なタイプの車椅子、移動バーや衝撃緩和マットなどを更新しました。

#### (3) 食事内容・提供方法改善の推進

栄養プランの作成、給食会議や厨房会議などで、食事内容や提供方法の改善課題の検討および改善の実施や、食事形態の見直しやソフト食の工夫に継続的に取り組んでいます。安全で美味しい食事提供の為に瞬間冷却装置を導入するにあたり、事前に厨房職員が外部の研修に参加し、装置を使用した調理方法の習得し新しいメニューへの取り組みを行いました。また、食事の楽しみを広げて頂けるようご当地メニューの提案などの工夫を行っています。

嚥下状態や咀嚼の良くないご利用者に対しても、できるだけ口から食べ続けられるよう、サービス間の食事形態の統一化、食事の介助方法・姿勢保持の見直しなど、言語聴覚士の協力を得ながら個別に対応してきています。歯科医や歯科衛

生士との更なる連携の下、食事の摂取について多角的に取り組んでいます。

(4) 職員の資質の向上と職場の活性化

昨年度に引き続き、より良い介護・技術向上を目指し、施設に外部講師を招き一年を通して介護基礎研修を実施し、職員・職種間の連携を意識した質の向上に努めてきました。研修委員会を中心に職員の意見を盛り込みながら、今年度は「緊急時の対応」をテーマに実施しました。自施設での事例を取り上げグループワークを行うことで、職員が自分たちで考え、気づきが持てる場面を多く設けました。

また、全職員がAEDの使い方や心肺蘇生法を学べるよう、名古屋市の応急手当研修センターに依頼し施設内で普通救命講習を実施しました。

施設内研修は職員対象ですが、ご利用者家族をはじめ一般の方や関連事業所にもご案内し参加して頂きました。

(5) 経営の安定、安定したサービス提供

今年度も収入の安定化と法令遵守に力を入れ取り組みました。収入の安定化を図るため、毎月の経営会議等で実績を把握し、課題と解決策を整理し迅速な対応を心がけ、各サービス間での調整や連携を意識し強化することで、高齢者施設全体を通しての経営の安定と、ご利用者に必要なサービス提供がスムーズに行なえるよう取り組みました。

また、サービス提供にかかわる適用基準については、要件や体制の確認を随時行ない法令を遵守する運営を行いました。

**2. 利用実績**

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
特養	79.1	78.3	78.1	78.9	78.4	78.5	79.6	79.7	79.4	78.7	79.5	79.0	78.9(98.7%)
短期	22.2	22.9	21.4	21.6	21.6	21.9	21.2	21.8	21.2	22.5	22.0	21.5	21.8(109.1%)

※定員:特別養護老人ホーム(80名) 短期入所(20名)

※特別養護老人ホーム・短期入所:1日あたりの利用人数

※平成26年度平均要介護度

介護老人福祉施設	3.98
短期入所生活介護	3.10

**3. 主な事業**

(月行事など)

会議:職員会議、経営会議、連絡調整会議、リーダー会議、グループ会議、

給食会議、厨房会議、看護職員会議、事務所会議、デイサービス職員会議、居宅職員会議、サービス担当者会議、委員会連絡会議

委員会：非常災害対策委員会、個人情報保護委員会、衛生委員会、事故防止検討委員会、サービス向上・業務改善委員会、感染症・食中毒予防対策委員会、入退所検討委員会、身体拘束解消委員会、褥瘡予防対策委員会、認知症対応委員会

行事：お楽しみ会、日曜レク、音楽クラブ（保育園合同）、リフレクソロジー、売店、移動パン屋、理美容、体重測定、喫茶（南山寮生様）、生け花、衣類販売、別院巡回法話、老いと病の相談員様、大谷高校ボランティア、傾聴ボランティア（こころん様）、音楽（ちいち歌の会様、みなみやま聖歌隊様）

(年間行事)

- 4 月 春の行楽（隼人池）
- 5 月 春の行楽（昭和村、東山動物園）
- 6 月 名古屋市輪投げ大会
- 7 月 七夕、花火大会
- 8 月 盆踊り、盂蘭盆会、総合防災訓練
- 9 月 名古屋市情報伝達訓練、全館清掃（床・窓）、敬老会、職員健康診断、救命救急講習①
- 10月 名古屋市老人ホーム運動会、わんニャン広場、衣類販売、介護技術研修①
- 11月 名古屋市老人ホーム作品展、インフルエンザ予防接種、救命救急講習①、介護技術研②
- 12月 報恩講、餅つき、大掃除、年忘れ会、正月花（生け花）、介護技術研修③
- 1 月 初釜、初詣、介護技術研修④
- 2 月 救命救急講習③、認知症研修
- 3 月 職員健康診断、防災訓練、全館清掃（床）

#### 4. まとめ

施設および在宅のご利用者の状況は重度化し医療依存度も高くなってきているため、個別対応が求められています。併せてご家族の高齢化も進んでいるため、ご家族の状況も含めたサポートが必要となってきています。また、認知症や精神疾患等のご利用者への対応も複雑になってきているため、各職種がより専門性を高め連携を図りながら、チームとしてケアを実践していく必要があります。

平成27年度は、介護保険法改正および介護報酬改定により、ご利用者・ご家族

から施設へのニーズは増大し、質の高い介護サービスを求められることとなるため、ケア内容やサービス体制、職員の資質の向上についてしっかりと対応していきます。

# 平成 26 年度 事業報告

## 南山の郷 居宅介護支援事業所

### 1. 計画の実施状況

#### (1) 「本人らしい生活」の支援

できる限り住み慣れた地域で暮らし続けたい、施設ではなく自宅で暮らしたい、といった思いを汲み取り、生活に反映させることができるよう、自立支援の視点に立ったケアプランの立案を心掛けています。

#### (2) 各機関との連携強化

行政機関、いきいき支援センター、関係事業所、医療機関等に電話・訪問等の手段を用いて積極的にアプローチを図り、連携強化に努めています。特にいきいき支援センターには困難ケースや虐待ケースの相談や報告を密に行っており、情報の共有と適切なサービス提供に努めています。

#### (3) 研修への参加、職員の資質向上

月 1 回ほど内部研修に参加し、新たな知識の習得や相談援助技術の向上に努めています。また外部研修にも積極的に参加し、より広い視野に立った情報収集と資質の向上に努めています。

### 2. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
登録者数	84.0	81.0	81.0	83.0	82.5	83.0	84.5	84.5	83.0	87.5	86.0	91.5	84.3
実績	83.0	80.0	79.0	82.0	82.5	80.0	80.5	83.0	82.0	87.5	85.0	90.5	82.9

※ 予防給付は介護給付の 0.5 換算。

※ 入院中などでサービス休止中の方は実績から除外。

### 3. まとめ

近年、困難ケースや虐待ケースが増えつつあるように思います。そういったケースにも適切に対応できるよう、今後も定期的に居宅介護支援に関する知識・技術を習得する機会を持ち、資質の向上に努めていきます。またチームとして問題の解決に取り組むことができるよう、関係各所および民生委員、地域支援員との関係強化に努めていきます。

# 平成 26 年度 事業報告

## 南山の郷 デイサービスセンター

### 1. 計画の実施状況

#### (1) 環境整備の推進・整理整頓

デイサービスを利用される目的は多種多様化しています。サービス内容（ソフト面）での個別化はもちろんです。実際に過ごしていただくホール（ハード面）の改修を行い、すでに1年が経過しました。

ご利用者・職員ともにこの空間にも少しずつ慣れ、大きな空間で演奏会やルンビニー園の園児たちと交流を図ったり、小さな空間で少人数での作品作りを楽しんだり、畳の空間でゴロゴロして過ごす男性ご利用者などそれぞれの方がその方らしくデイサービスのホールを利用されています。

一番の変化は、中庭をはさんで園児の姿が見えるようになったことで自然と利用者同士での会話も増え、交流行事にはない日常の姿を楽しまれている事です。カーテンを引くと園児が見えないとお叱りを受けることもあります。

いつまでも気持ちよく利用していただけるよう今後も環境整備・整理整頓の推進を継続していきます。

#### (2) 社会資源の活用

限られた職員数のなかでは、ご利用者の個々のニーズを引き出す事は出来てもそれを実現することがなかなか容易ではないため、地域の社会資源として様々なボランティアの方々に昨年度もご協力いただきました。

ゆっくりと寄り添って話を聞いて下さる「傾聴ボラ」（昭和区社会福祉協議会）、個々の趣味に基づいた「詩吟」「絵手紙」「囲碁」「興正寺法話」「メイクセラピー」「理美容」や年に一度しめ縄を利用者と一緒に制作下さる「天白川で楽しみ隊」、毎月の利用者の誕生会で生花を準備下さる「花たち」等、日ごろから当センターの運営方針を理解していただいたうえで沢山の力をお借りしています。また、ボランティアの方が気持ちよく活動していただける体制づくり（声かけ運動）にも力を入れました。

#### (3) 事業の安定した運営

ご家族や介護支援専門員からの相談に対し実際どのような支援が出来るのかを一緒に検討し、個別的な対応を心掛けています。また年間を通じて利用予定人数と実利用人数の可視化、臨時利用の可否などがどの職員でもすぐにわかる体制づくり、日々変動する空き曜日の情報共有を図るなど問い合わせに迅速に対応し新規利用契約につないでいきました。また、重度認知症や医療依存度の高い利用者の受け入れも随時行い職員の専門性を高めることに努めました。受

け入れ直後は大変ですが、在宅で頑張って介護されているご家族の支えになれるサービスであることを職員会議の場などでも伝え、職員の奮起を促しました。

## 2. 利用実績 (月あたりの利用人数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28.5	28.6	28.7	28.8	27.7	27.6	27.5	26.9	25.9	26.9	27.1	27.4	27.7

(平均稼働率：81.3%)

\*定員：通所介護（34名）

\*平均介護度：2.43

## 3. 主な事業

(月行事など)

会 議：全体職員会議・職員会議・経営会議・給食会議・ケアカンファレンス  
委員会連絡会議

委員会：非常災害対策委員会・個人情報保護委員会・衛生委員会・事故防止検討委員会・サービス向上業務改善委員会・感染症食中毒予防対策委員会・身体拘束解消委員会・褥瘡予防対策委員会・研修委員会

行 事：保育園交流（全体・小集団）・保育園合同誕生日会・世代間交流（寮喫茶）・外出行事（買い物・喫茶・興正寺・東山公園）・季節料理・食事会・おやつ作り・作品づくり・メイクセラピー・理美容・詩吟・絵手紙・法話・各種演奏会（三線・琴・オカリナ・太鼓）

(年間行事)

4 月 花見外出・はなまつり

5 月 菖蒲湯・畑作り

7 月 七夕会

8 月 スイカ割り・盆踊り・防災訓練

9 月 秋まつり・敬老会

10月 運動会・秋刀魚

11月 ボランティア慰労会

12月 ボランティア慰労会・餅つき・クリスマス会・しめ縄づくり

1 月 初釜・初詣

2 月 節分・剣舞

3 月 ひなまつり・保育園卒園祝い・防災訓練

## 4. まとめ

今後も重度認知症や医療依存の高い高齢者が地域で生活する場面が増えること

が想定されます。ご利用者はもちろん介護しているご家族の支えとなることができるようデイサービスとして地域に認知され、安心して利用していただけるよう、より一層の専門的な知識の習得や職員間の連携、開かれた施設作りを継続課題とします。

# 平成 26 年度 事業報告

## 認知症グループホーム みなみやま

### 1. 計画の実施状況

#### (1) 「権利的擁護」の認識とサービス向上

定期的なモニタリングで、ご家族と支援内容の確認は行うことができたが、ご利用者の施設での生活支援が主になり、ご家族の意向については聞き取りが不十分でした。今後は、ご家族様の意向が反映出来るように意見交換の場が設けられるようにしていきます。

#### (2) 介護に関わる知識・技術の向上と統一

内部・外部研修への参加を促し、介護に関わる知識の向上を図りました。また、学んだ知識・技術の実践を行いながら対応の統一が出来るようカンファレンス（検討会）を行い、介護計画の立案を行いました。

#### (3) 身体機能と生活機能の維持

日常生活の中で、今出来る事を大切にしながら趣向にあった個別ケア（家事支援等）を行いました。

#### (4) 地域等との交流の促進

認知症の方が住み慣れた環境で、地域の方々に見守られながら過ごせる地域作りの為、施設職員にて認知症サポーター養成講座を開催し、地域の方々に認知症に対する理解と対応方法等について勉強会を行いました。今後も認知症の方だけではなく、ご家族の方も介護しやすい環境作りを推進して行きます。

#### (5) ご利用者のご家族との交流・連携

ご利用者の普段の様子を見て頂けるように、交流会を行いました。昼食を職員も含め、一緒に食べて頂く事により職員とご家族との交流も図ることができました。また、外出行事では水族館にも一緒に参加して頂き、親子水入らずの時間を過ごされました。今後もご利用者とご家族のニーズの把握に努め、交流・連携を行っていきます。

#### (6) 職員間連携と状況把握を意識した声掛け

朝・夕の申し送りにより、ご利用者の状況を職員間で共有が出来るよう努めました。業務についての状況把握についての声掛けに対しては、徹底出来ていない面もありましたので、今後も会議等で声掛けに対しての意識付けを行います。

## 2. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
定員 (18名)	18	17. 4	17. 2	17. 5	17. 1	17. 4	16. 5	17. 5	16. 7	17. 3	17. 7	17. 6	17.3 (96.2%)

※上記、1日あたりの利用人数

※平成25年度平均要介護度＝2.63

## 3. 主な事業

(月行事など)

会議：経営会議、給食会議、委員会連絡会議、サービス担当者会議、運営推進会議、グループホーム職員会議

委員会：非常災害対策委員会、個人情報保護委員会、衛生委員会、事故防止検討委員会、サービス向上・業務改善委員会、感染症・食中毒予防対策委員会、身体拘束解消委員会、褥瘡予防対策委員会、認知症対応委員会、研修委員会

行事：誕生日会、喫茶外出、外食外出、手作り昼食、手作りおやつ、理美容体重測定、個別レク

(年間行事)

4 月 花見(桜)、生け花

5 月 菖蒲湯、母の日、BBQ(南山寮交流)

6 月 花見(紫陽花)、父の日

7 月 セタ会、花火、土用の丑

8 月 盆踊り、スイカ割り

9 月 お月見、敬老会

10月 秋刀魚の日、ハロウィン、ウクレレ慰問

11月 陶芸教室

12月 家族会、ゆず湯、クリスマス会、餅つき

1 月 初釜、初詣、書初め、新年会

2 月 節分(豆まき)

3 月 ひな祭り、花見(梅)

## 4. まとめ

今後も、ご利用者・ご家族・職員との関係作りに努め、問題の把握とその方にあった支援の提供を行います。また、開所から利用されている利用者の中で、医療依存度が高い方が徐々に増えてきている為、安心・安全に施設で過ごして頂けるように医療機関との連携もより密に行っていきます。

# 平成 26 年度 事業報告

## 小規模多機能ホーム みなみやま

### 1. 計画の実施状況

#### (1) 事業の安定した運営と適切なサービス提供の継続

安定した運営が出来るよう、毎月の実績を把握し、迅速な対応を心掛けました。また、サービス提供にかかわる適用基準については、体制の確認を行い法令を遵守する運営を行いました。

#### (2) 在宅での生活が維持できるよう個々の利用者に合わせた支援,定期的なケアカンファレンスや連絡帳等、日々のご家族との報告・連絡により、ご利用者・ご家族の問題把握を行いながら対応しました。

#### (3) 各部署との連携

各サービス間での調整や連携を意識した対応により、利用者に必要なサービス提供がスムーズに行えるように取り組みました。各部署との交流行事については、連携が円滑に行えなかった為、今後の課題として担当者と調整しながら取り組んでいきます。

#### (4) 地域の社会資源を把握

住み慣れた環境で、地域の方々に見守られながら過ごせるように、地域の行事への参加を行いました。今後も地域の社会資源を活用できるようにその把握に努めていきます。

#### (5) 個別レクリエーションを充実

ご利用者の趣向にあったレクリエーションの提供が行えるように、普段の生活の中からニーズの把握に努め、要望にあったサービスの提供を行いました。

### 2. サービス別利用実績（賃貸住宅含む）

#### <小規模多機能ホーム>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
登録	24	23	24	23	25	25	23	22	22	24	24	23	23.5
通い	14.1	13.8	14.1	13.6	14.4	15	13.2	12.8	13.3	13.5	14.1	14.4	13.8
泊まり	5.1	5.4	6.2	5.9	5.9	7.6	6.1	5.8	6.5	6.5	7.1	7.9	6.3
訪問	5.8	5.8	6.1	6.1	6.4	8.4	7.4	6.1	7.2	7.4	7.2	6.4	6.7

※登録: 25名

※定員=通い: 15名(一日)、泊まり: 8名(一日)

※平成25年度平均介護度：2.44

### <賃貸住宅>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
定員	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

※定員：6名

※要介護状況＝自立（2名）、要支援1（2名）、要介護1（2名）

## 3. 主な事業

（月行事など）

会議：経営会議、給食会議、委員会連絡会議、サービス担当者会議、運営推進会議、小規模職員会議

委員会：非常災害対策委員会、個人情報保護委員会、衛生委員会、事故防止検討委員会、サービス向上・業務改善委員会、感染症・食中毒予防対策委員会、身体拘束解消委員会、褥瘡予防対策委員会、認知症対応委員会、研修委員会

行事：誕生日会、喫茶外出、外食外出、手作り昼食、手作りおやつ、理美容、体重測定、個別レク

（年間行事）

4月 花見（桜）、生け花

5月 菖蒲湯、母の日、BBQ（南山寮交流）

6月 花見（紫陽花）、父の日

7月 七夕会、花火、土用の丑

8月 盆踊り、スイカ割り

9月 お月見、敬老会

10月 秋刀魚の日、ハロウィン、ウクレレ慰問

11月 陶芸教室

12月 家族会、ゆず湯、クリスマス会、餅つき

1月 初釜、初詣、書初め、新年会

2月 節分（豆まき）

3月 ひな祭り、花見（梅）

## 4. まとめ

ご利用者の認知症の状態も進んできている為、出来るだけ長く安心・安全に住み慣れた地域（自宅）で生活が出来るように、社会資源を十分に活かせるような具体的な方法を見直していきます。

# 平成 26 年度 事業報告

## ケアハウス 南山の郷

### 1. 計画の実施状況

#### (1) ご利用者へのサービス提供体制の充実

定期的に懇談会の場やアンケートなどによりご利用者の声を把握しながら、食事の提供方法の見直し、居室設備の定期点検・修繕、娯楽備品の設置など、ご利用者が安心して快適に過ごせるようサービスの改善に努めています。日常の生活相談だけでなく介護認定から各種の書類の申請に関わる相談・代行などにも幅広く対応をしています。

環境整備として、昨年度の居室エアコンの更新に続き、全居室の冷蔵庫を更新しました。また、なるべく居室に閉じこもらない雰囲気づくりとして、ダイニングのソファセットやカーテンを更新し、明るく落ち着いた環境で居心地良くご利用者同士が交流できるよう整備しました。

#### (2) 健康管理の推進強化

ご利用者の身体レベルの低下や入院は年々進んでいます。毎月身体測定の実施、かわな病院・坂井歯科医院と協力医療機関として契約するなどして予防措置も含めて医療体制の強化を図っています。また、服薬ができない方のために、かかりつけ医や薬局との連携を図り、安全に確実に服薬できるように施設で服薬管理する体制にしています。

また、緊急時の速やかな対応の為に、日常の状態を定期的に把握できるように病状管理のためのシートを作成し、適時更新しながら職員間の情報共有と特養夜勤者との連携に努めています。

#### (3) 個別支援の推進

病状・身体状態の悪化や認知症の出現により、何らかのサービスが必要なご利用者が増えてきています。介護計画を立案し定期的にカンファレンスを開き個別のケースについて検討し、ケアハウスでの生活が継続できるよう支援しています。介護サービスの必要性に応じて、小規模多機能ホームみなみやまと連携しながら生活の安定に努めるなど、関係機関とも連携を図り積極的に医療や介護保険サービスの利用を進めています。また、管理栄養士による栄養・健康管理の維持・向上に努めています。

#### (4) 食事の提供の充実

利用者懇談会やアンケート、また、個別の嗜好調査などの結果を給食会議や厨房会議などへ報告し改善策を検討する流れを整備しています。ご利用者の声

を反映しながらひとつひとつメニューを変更するようにしています。利用者懇談会の席に栄養士が出席し、食事に対するご利用者からの要望や質問に直接対応させて頂き、顔の見える関係づくりに努めています。

## 2. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月初人数	30	30	30	29	30	28	29	28	30	30	30	30

## 3. 主な行事

### <会議など>

毎月定例：職員会議、カンファレンス、給食会議、感染症対策委員会、衛生委員会、事故防止検討委員会、サービス向上・業務改善委員会、非常災害対策委員会

### <月間行事>

- ① 入居者懇談会・・・職員と共に生活改善や諸行事の意見交換の懇談会
- ② 月の定例活動・・・絵付け教室、カラオケ会、ビデオ鑑賞会、喫茶会、内科往診2回（希望者）
- ③ 法話会・・・毎月1回実施
- ④ 施設間交流行事・・・児童とのレクリエーション行事、共同外出会、園芸交流

### <年間行事>

4月	お花見会	10月	ふれあいまつり
5月	衣類販売	11月	バーベキュー
6月	輪投げ大会	12月	年忘れ夕食会、餅つき
7月	七夕会	1月	初詣、初釜
8月	鰻の日、防災訓練	2月	節分
9月	秋刀魚の日	3月	雛祭り会、防災訓練 梅見

## 4. まとめ

ご利用者の高齢化が年々進み、要介護認定を受けている方の割合の増加と要支援の方の重度化も進んでいます。現在もご利用者の状態により必要な支援や、退院後の個別対応を行っておりますが、ご利用期間中に認知症やその他疾患の発症や進行もあり、これまで通りのケアハウスの対応では困難な場面も増えてきました。反面、

元気で暮らしている方のご利用もあるので、ご利用者により必要な生活支援レベルの差異が出てきており、ご利用者同士の理解も課題となってきました。

ケアハウスでの生活を望まれるご利用者が、安心して生活を続けられるよう支援していくために、法人内の事業所間や外部サービスとの連携を図りながら、これまでの考えにとらわれず今後のケアハウスのサービス提供の内容と方針を具体的に示していく必要があります。